



2021年3月22日

各位

興和株式会社

**興和株式会社と学校法人北里研究所  
感染症治療薬における共同研究契約を締結  
－感染症治療薬の研究を推進－**


興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 三輪 芳弘、以下「興和」）は新たな抗菌・抗新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発に向けて、北里大学の設置法人である学校法人北里研究所（本部：東京都港区、理事長 小林 弘祐、以下「北里大学」）と共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

北里大学の感染症研究の実績と、興和の医薬品の研究開発に係るノウハウを活用し、新たな抗菌・抗ウイルスなどの感染症治療薬の創薬・創製を目指してまいります。興和は新型コロナウイルス等の感染症撲滅を目指し、北里大学の大村智記念研究所感染制御研究センター（センター長・教授：花木 秀明）や大村創薬グループ※<sup>1</sup>などの知見を最大限に活用しながら、強力に研究開発を推進させていき、世界に貢献できる感染症治療薬の開発を進めていく予定です。

共同研究の具体的な役割分担は、北里大学において薬剤耐性菌に対する新規抗菌薬のスクリーニングを実施し、興和と北里大学において見出された化合物の非臨床試験に着手いたします。当初の研究開発テーマは、①抗菌薬関連大腸炎の最も一般的な原因菌といわれている Clostridioides Difficile（クロストリディオイデス・ディフィシル）感染症※<sup>2</sup> 抗菌薬の研究、②セファランチン※<sup>3</sup>の新型コロナウイルス予防／治療薬としての研究を推進してまいります。

興和は、現在の日本だけでなく世界的な危機的状況に鑑み、今般の北里大学との共同研究開発を推進し、早期に感染症治療薬を実用化していくことで、感染症治療に貢献してまいります。

以上

 興和株式会社	広報部（東京）	東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL：03-3279-7392
	本店（名古屋）	名古屋市中区錦 3-6-29

※1 大村創薬グループ

大村創薬グループでは人および動物の間で流行する感染症を予防し、全ての生物を支える環境全体を維持するための包括的アプローチである“ワンヘルス”の向上に貢献することを目指す。

※2 Clostridioides Difficile（クロストリディオイデス・ディフィシル）感染症

菌が産生する毒素により、偽膜性大腸炎（粘膜の破壊、異常な粘膜形成）、血清の下痢・腹痛、発熱を起こす。重症の場合は、致死的な下痢（脱水）等を起こす。

※3 セファランチン

タマサキツヅラフジから抽出されるアルカロイドであり、1950年代に承認された薬剤の有効成分を吸入製剤化により、高い肺局所濃度と持続化を目指す。